（二日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料二行五十錢指定廿錢増
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

青年訓練に就て（四）

磐中出身某將校談

扨て教練の目的たる心身を鍛錬し堅忍剛毅の精神規律を重んじ協同を尚ぶの習慣を養ふにあるといふことは分り切つた事の様であるが是に就て聊か部分的に述べて見よう。

心身の鍛錬　といふことを精神と身体とに分けて考へて見るに我國民の身体の鍛錬は如何なる程度まで出來て居るかとならば其体格は年々に低下して居ることは毎年の徴兵檢査の統計に依つても明瞭なることである、然らば其低下した結果は如何であるか大正十三年頃迄に於ける數年間の統計に依るに我國民の平均命數は三十七歳某である、然るに一方体育の最も盛なる「スヰーデン」の平均命數は第十九世紀の末頭に於て五十一歳を示して居る、此國は一八四〇年即第十九世紀の中頭に於ける平均命數は四十一歳であつたものが一八九〇年即五十年の後には五十一歳となり十年の平均命數の延長を示して居る

又米國に於ける徴兵檢査の狀況を見るに其檢査人員一〇〇に對し七一八は合格者であるに比し我國に在りては約三六八の割であつて米國に比し約半數、合格率である、而して其合格の標準は彼の偉大なる体格を有する米國の方が或は高、ではないかとも思はるゝのである、又我國と米國と水兵及鐵道線路工夫の仕事の量を比較するに是亦約半分である（詳細略）是を以て見れば乃公は身体が丈夫だ醫者の藥は口に嘗めた事もないと威張つて居る人もあろう其は誠に結構な事であるがまだ〳〵歐米諸國民に比しては半人前であるといふことを自覺せねばならぬ頭が劣つて居る爲めか否か[illegible]差[illegible]る然ば[illegible]体格に[illegible]て劣等の地位にあらねばならぬか否々決して然らずである是を補ふの途如何各種体育に依りて身体の鍛錬を行ふにある、教練も亦此目的に適恰するのである。

次に精神の鍛錬である一言にして精神の鍛錬と申せば何でもない様であるが實際には其範圍も廣く仲々容易なことではないのである殊に堅忍剛毅の精神と擧げてありますが此精神の振否は直に國力の盛衰に關係する事は内外の歴史に徹しても明瞭なことである、我國に於て國力の最充實して居たのは鎌倉時代であると社會學者は申して居るが成る程此時代の國民精神の慥かに堅忍剛毅であつたことは何人も知る所であるが又近くは日清戰爭後かの獨佛露三國干渉に依り折角我國民は國を賭して戰爭に從事し吾等國民の先輩者の尊き血と肉とを以て償ひ得たる遼東半島を何等戰爭に緣も因もない右三國干渉に依りて我國民は涙を呑んで還付した其當時に於ける我國民の意氣は如何であつたか如何に緊張してゐたか實際に我國民は寢ても起きるにも働くにも堅忍不拔質實剛健の精神を以て臥薪嘗膽十年にして彼の世界の最大陸軍强國と謂はれし露西亞と戰つて赫々たる戰勝の榮冠を得世界の三等國たりし我帝國が一躍して一等國となり五大强國の一として指を屈せらるゝに至つたのではないか「勝つて兜の緒を締めよ」で其當時こそは戰爭に依りて失ひたる國力を回復する迄は大に精神も緊張して居つたろうが爾後漸次堅忍剛毅の精神が薄らぎつゝあつたのである、之と同時に歐米諸國はどうであつたかといふに我の勃興を喜ばず我の發展を妬み陰に陽に備へ初めた[illegible]一例を申せば米國は我勃興に覺醒し布哇な太平洋艦隊根據地を建設し巴奈馬運河の開鑿に着手し太平洋沿岸「ブレマトン」「メリーアイランド」「サンチヤゴ」等に海軍根據地を設定擴張し「グアム」島、呂宋島に重大なる設備を設して我に備へ太平洋方面に於ける覇權を爭ふの準備を着々整へつゝあつたのであるこんな狀態で彼此して居る彼の世界的大戰爭が初まつたのである其間幸か不幸か我國は此のドサクサ紛れに一ト金儲けをやつたのである歐米諸國に歐洲諸國は國を擧げて四年有半お互に戰場矢彈下に相見ゆ居つたてあるが之に反し我國民は急に大金持ちになつた爲め到る所に成金風が吹き廻はし民心は急に堅實味を失つたのである。

間もなく大戰が終つた歐米諸國は此の四年半の若き經驗に鑑み民心は極度に緊張し國力を充實し他日に備へんが爲めに各種の方面に向つて全力を傾注するに至つた前述靑年訓練の如きも其施設の一つであることは謂ふ迄もないのである。一方我國はどうであるかと見る、我國の財政は一時は大に充實したものが日一日と傾き初めて遂には又財産を失ひ元の杢阿彌貧乏國となつた偶天誅の如き大震災に依りて一層我國力を減殺された經財界の不振は其より依然として經續し今日向各種の方面に不况の聲が絶えぬ國家財政は依然窮乏を告げて居る、而して彼の大震災、機に乘じ我は之と前後して起つた所の各種の問題は悉く我を壓迫し我の發展を妨害しようと爲るものゝ如くすして何であるか彼の華府會議に於ける海軍比率問題、絶差別撤廢問題といひ南洋委任經治問題といひ米國の排日移民問題太平洋に於ける米海軍大演習（此演習は何を意味するか）支那に於ける日貨排斥問題山東等壯擧、邊なき程の各種の問題が起つた爾後引續いて對外關係は我に利ならざるもののみである、我國としては依然八方塞がり四面楚歌の聲孜立援けなきの狀態である

明日の吉凶

舊暦六月十八日　新暦八月三日

▲一白　元職を守れば愉快に歩り行くべし旅は凶▲二黒　鋭鋒の鈍らぬ様に氣を締て直前するが吉▲三碧　人を當にせず己が力を便りと思ふべき日▲四綠　重心を失ひたる滑車の如く脱線し易き日▲五黄　内を整へて後に外に手を出せば大事成るべし▲六白　浮氣を戒め尻を落付けて精勵せよ吉たる日▲七赤　變化を避け遲きを憂ひず進む時は末はよし▲八白　熱心と勉強とは何物もこれを妨ぐる事態はず▲九紫　激浪の中をぬひ走る船の如く舵を誤るな

講談

幕末秘帖　狂怒乱心

（6）

渡邊默禪作　宮野歌春畫

時は文久三年の二月すゑである。

雪江といふ女は幕末に有名であつた御留守居年寄神保佐土守長興――五千石の高で神田小川町に住んでゐた――の屋敷に奥勤めの侍女佐渡守の奥方は平生熱心な鬼子母神の信者であるが恰かも本堂の修復が落成したので此月の十八日から開帳がある。それへ代參の役を仰せつかつて仲間の與平といふ老人を供に雜司ケ谷へ出向いたのであつた。

二人の浪士は出羽の清川八郎が、松平春嶽公に建議して新たに組織した幕府の護衛隊新徵組の者で、低い小肥の方が逸見清之進、長い痩形の方が石原鋭馬、いづれも一騎當千と我から銘々打つ强者である。

新徵組が出來たのは文久二年の冬で、總勢二百六十人、日本全土の浪士を網羅した中、上野、下野、武藏、甲斐の出身者が多かつた。慓悍獅子のやうな一粒撰、殺すことや殺されることを茶漬で搔込むやうに思つてゐる、其の顔觸は勇名一世に轟いた剣客の近藤勇土方歳三を筆頭に井上源三郎、長倉新八、齊藤一、沖田總司などの豪傑連、之が監督官としては御掛が板倉周防守、取扱が鵜殿鳩翁、御目附が中條金之助、杉浦正一郎、池田修理、取締役が山岡鐵舟を始め都合六人

今までは尾羽打枯らした浮浪漢で、こそ／＼と日陰を歩いてゐたのが、將軍家護衛といふ肩書がつたので急に天下を呑む鰐鮫の、牙を振つて市中を暴れ廻つた辻斬はやる、喧嘩は仕懸ける、青樓の只飯、町家の押借、女を捉へて惡巫山戯など、狼藉いたらぬ隈はなく市民をして厄病神のやうに恐れしめたが、就中隊の者が規律を破つたといふので二人を一度に斬殺し首を兩國橋に梟して、武威の程を示した一擧の如きは見る者の毛慓をたせた。

血に餓ゑた虎の餌食になることを甘んじて自ら肉を裂かれに行く。此の漢子も隨分變り物である

二人の浪士を連れて廣い畑中へ出た、右の方が寶成寺の森、左の稻荷の社で五六株の野梅が頽れた雪の殘花を梢に綴つてゐる、それが風につれてジン紛と飛んで參る。

『さア、其處に直居れッ奴

逸見は畦に崩れた藍芽を踏んで畑の眞中に突立つた

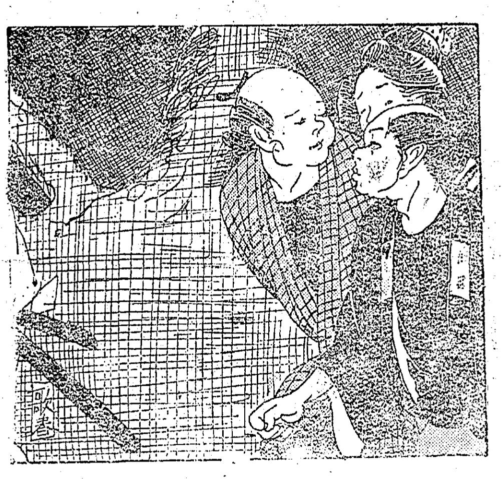
「此やつ、肉つきが好いちやア、斬でたへがあるちやらう、早う裝束をし參

石原も柔皮の襷を出して羽織の上へ綾取り始めた

茶屋の嬶が大變なことになつたと驚いて母舍へそれと知らせた爲であらう、近所の者から參指の人々まで我先にと彌次り出して沙漠を駈ける駝鳥の如く、一隊二隊、三隊、砂塵を蹴つて來た。見る／＼中に畑の四方へ圓い黒線を引いて立ちながら見物してゐる。白髪若衆、齒藥鑵、小銀杏、竹の節、島田、たぼこ、達磨返し、種々の天窓が波狀に列んだ。

くし柿のやうな眼と眼とがつながり合つて星の輝きを此の三人に投げつけるのである。

彼れ馳に雪江も與市も來た。怖々らしく氣の毒さうに什麼にか無事に納める工夫はないものかとはら／＼と氣を揉むかのやうに人の陰から窺いては何か微聲に噂き合つてゐた



『待ちな、俺だつて是が生死の土壇場となりやアそれ相應の準備があらアな、コウお二人、一寸の蟲にも五分の魂、那箇シガの無え野郎でも大根や牛蒡だア違ふから、默つて斬られる馬鹿もおりやしねえ、まア何だ敵はぬまでもな一つ敵對の眞似なりともして、ちよいと愍ふ愛嬌にな、二振三振ヤットウ／＼てなこと言つて、威勢よく斬られてえと思つてるんだが、濟まねねかコウ、お前さんたちの差してゐるその小の方を貸してた呉んなさらねえか」

不思議の男は不思議の事を言ひ出した。

廣告

吉田眼科醫院

◇例年の通　舊盆迄　謝恩興行（第二回目）

大岡政談　第二編

巨匠伊藤大輔◇大河内傳次郎◇伏見直江　卯島五郎　梅村蓉子　高木永二　伊藤みはる

㊐凱旋少年　浦邊粂子、小泉嘉輔　澤村春子、中村吉十郎

鐵笛の義人

會津節子姫御成實況

◇昭和三年七月二十六日より四日に渉る松平節子姫が郷土會津若松に歸省せられ官民擧げて熱誠なる歡迎の實況を謹寫せるものである

改定料金
普通席　金十錢
一等席　金三十錢
特等席　金五十錢

八月二日より寫眞替り
△土曜日學生デー

高級常設　平館　電話四六六

謹告

小生永々休業罷在候處今般左記ノ箇所ニ事務所ヲ設ケ從前通リ辯護士ノ業務ニ從事致候

辯護士　從五位　新妻誠一

事務所　石城郡平町搔槌小路一番地（田町通り）　電話一六一番

御新盆用提灯

御注文（御戒名）入ハ、絶對他店ノ追從ヲユルサヌ品質本位廉價第一ノ

杉ノ澤　寺田提灯店
三丁目　叶　加藤提灯店
四丁目　スガノヤ提灯店　電話七一二
鎌田町　加藤提灯店
へ御用命の程御願申上げます

内科。外科。婦人科。小兒科。花柳病科

磐城病院

入院隨時　平町田町本通り（電話一一四番）

内科、小兒科　花柳病科　入院應需

藤沼醫院

平町紺屋町　電話平局五〇七番

教授

裁縫　奥田式及び水引細工
華道　古遠州生花、小原流盛花
茶の湯　裏千家

平町白銀町（平劇場前）　高橋光春　電話六三八番

夜間診療

胃腸　内科　十二指腸虫病　專門　内科部

梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部

平町南町　松村病院　電話一〇七

㋡三益玉炭の御奬め

○ツの玉炭は三井物産株式會社が多年研究の結果發明した木炭代用の高級燃料です

○ツ玉炭の特長

第一無煙無臭で取扱ひ頗る便利です

第二、火付がよく、火力が強く、しかも値段は木炭の三分の一で間に合ひますから一度御使ひになればどんなに便利でどんなに安いか直ぐわかります

◎値段は一箱金貳圓（玉炭ノ個數約八百個）

◎見本品御入用の御方は御申出下さい無料で差上ます

平驛前　㋡阿部石炭商店　電話二三七番

外科　婦人科　内科　X光線科

外科一般　耳鼻科　花柳科

産科　婦人科

赤心堂病院

平町田町（電四七五）

ホシ美白粉

ホシ美クリーム
ホシ美ローズ香水

星製藥株式會社

ホシ美[illegible]白粉
ホシ美煉白粉
ホシ美固形白粉
ホシ美粉白粉

勇敢な船長會の表彰方を申請

決死の覺悟で救助した

小名濱海の美談

既報—三十一日來の暴風雨で折柄出漁中の各漁船を救助すべく小名濱漁業組合では立花組合長自ら指揮し同町の船長會員約百名を磐城丸に乘船せしめ危難を冒して海沖遙かに漂浪する漁船に近き一隻に對し約百間の手前より海上を泳ぎきつて目的の船に移らしめ一名を水路案內者に一名は梶取りとし何れも決死的活動を以て本縣漁船を初め愛媛、三重、和歌山、靜岡、千葉、宮城、茨城等の各縣回船を合せ約百隻の漁船を救助した勇敢な行動は平警察署小名濱派出所松本警部補が實地に目擊し其の筋に對して表彰方を申請する筈である

石城の夏蠶

掃立減少

五月頃に終る

石城郡地方の秋蠶は一日から掃立が開始され五日ころまでに全部終了するものと見られてゐる掃立枚數は前年と大差ないが幾分減少するものとの豫想もある、それは石城郡地方一圓に亘つて桑に蕊止め玉蠅が發生して桑の被害が甚大なため繭の値段が前年同樣安値を示すものと豫想されてゐる結果である

お祭り酒で

刄物騷ぎ

植田署取調中

石城郡渡邊村大字田部草野吉松（四二）は雷神祭で區民廿九名と共に三十一日午前十時頃から自宅で飲食をしてゐたが午後五時頃に至り同字久保木重一（三七）及大竹恒雄（三四）の兩名が些細の事で喧嘩をはじめたので同席の久保木安雄が仲裁に入るや吉弘は仲裁が氣に入らないと切出し小刀を揮つて安雄にたどりかゝつたので座中總立ちとなり吉弘を取鎮めんとし安雄及伊藤吉五郎（三三）は手に輕傷を負つた

天狗チームを網羅し

スポンヂ野球大會

來る四、五兩日に亘り

參加十二チーム

平町野球聯盟主催の全平スポンヂ野球大會は各方面の天狗チームを網羅し盛會を豫想されてゐるが大會出場チームは既報の如く卅一日〆切當日までの申込數十二チームに達し昨一日抽籤の結果組合せは次の如く決定した

△磐中グランド（一回戰）

四日正午から

エンジンクラブ對白銀町

北辰クラブ

同日午後二時から

平第一高等科對鐵道乘務員クラブ

第二回戰

午後四時から

平商業校對田町クラブ

△平第一校庭（一回戰）

四日正午から

平第一校對鐵輪クラブ

同午後二時から

記者團クラブ對二葉舍

第二回戰

午後四時から

揚土クラブ對平郵便局クラブ

以上

尙第三回戰は五日午前八時から磐中グラウンドに於いて擧行の筈で各れも高くとない天狗の鼻をうごめかして優勝旗を獲得せんと猛練習を續けてゐるが各れにしろスポンヂ大會は當地方第一回の試みであるだけ各方面から頗る期待されてゐる

石城

名所めぐり（二）

白砂青松宛ら一幅の畫

磐城新舞子

△新舞子

新舞子とは大浦村仁井田の海岸一帶の總評にして、白砂雪の如く翠松林をなす、前は渺茫無涯の大洋を望み雲洋萬里水天髣髴として蒼波白帆點々相映ず、西は磐城富士を初め連山數里の外に環擁し、朝靄暮霞之れを望めば風景頗る佳なり反て橫川を顧れば深きに魚を見淺きに貝を傍する事を得る、釣を垂るもの網を投ずるもの、松岸蘋州の間を隱見し漁唱棹歌遠く近く相和して聞こゆる邊りは名狀するに形容の詞なし、而して遊覽尤も興を添ゆるものを曳網とす、網の長さ六十五間幅廣き處二間三尺、狹き處一間、其の間四尺毎に浮子を繫ぐ而して網の兩端に挽網を設く、長さ十間其の將に漁せんとするや網を船に載せ棹を把り船を進むるもの一人網を下すもの二人岸にあり、曳あみの端を握るもの二人、長竿を以て魚をあみ裡に驅るもの一人、準備全く成るや中流棹を回し、あみを下す輪の如く左右より之を曳く、腰下水に浸し一脚を上下してあみ陋を踏む、左右各一人半臂水に入り浮子とあみ墜とを拾ひ且つ挽くもの各一名漸く沓懲し、鱗族潑溂兔がる能はず遊覽するもの松下の落葉を燒いて鮮魚を炙る美味實に云ふべからず、遊べ酒を携ふる者亦た不物の乏しきを憂ひす興趣躍如たるものがある、近年其の名漸く高まり將來は國立公園たらしむべく曾つて川淵知事の實地踏査を見る迄に至つた、平町より汽車、自動車の便より好個の遊覽地である

△磐城富士

磐城富士は草野驛の西北約一里廿八町草野村絹谷にあり海拔五百七十尺、其の中頂部の奇峰峭立する處宛も富嶽に似たるを以て此の名あり、明治十一年大須賀次郎絹谷村史に此の山の狀勢を記して曰く絹谷富士は宛然小扶蓉なり直立凡そ五十七丈高からずと雖も嶽然群小山の上に位す、山の西北面は上平窪に屬し東南面は絹谷に屬す、嶺に踞して展望すれば申酉三箱山巍然として聳立し戊位に盤鬱たるは水晶山なり、而して石森山近く未位に接す、其の間村落星散し四南澱川大洋其の外に覗る、萬里一碧之れを良より巽に彌るの觀るとす、西北は夏井川の蜿曲南流する磐城氏城の各村稠蜜なる歷々盆底の物を數ふる如し——とあり、その雄大なる地方に於ける屈指の偉觀である

△四倉公園

四倉公園は四倉町の中央御免橋の北にあり、老松株枝を交へて颯々の琴を奏し西北には水石、猫鳴、三森等の諸山紺碧の雄姿を止め東南に萬里の海洋展望を恣にす、殊に四倉如來寺に面する全山は幾千株の牡丹姸を競ひ、實に地方牡丹園の雄を以て知らる、若し夫れ炎暑三伏の候杖を此處に曳きて丘上の茶亭に憩はゞ涼風衣袂を吹きて自ら天外に遊ぶの感がある、近年海水浴場として知られ滯在の遊客とを以て賑ふ。

小名濱港の船着場

土砂で埋めらる

前日來の暴風雨で

急施工事方陳情

石城郡小名濱町漁港の船着荷揚げ場（漁業組合事務所前）は工事竣工當時は干潮時に於てさい深水八尺あり如何に大規模の漁船も容易に橫付けとなり得たのであるが去月二十九日來の暴風雨の爲め土砂を以て埋められ現在に於ては滿潮時に於ける深水四五尺を超えざる有樣となり倒底船着場としての用をなさゞる有樣となつたので昨一日工藤平土木監督所長は急據出張調查中であるが最も迅速に取扱はざる可らざる鮮魚が此の船着場埋沒の爲め各漁船とも非常に狼狽してゐるが斯くの如き現狀を以てするときは實に不便と不利益甚だしいので小名濱漁業組合長立花雄七氏から縣に對し急施浚渫工事施行方を陳情する事となつた

母を毒殺の

噂は嘘

娘極度の悲憾

石城郡山田村伊達丑太郎娘みどり（二假名）が實母うめ（四〇）を茶碗に毒藥を塗り毒殺せんとしたのを實母が發見して大騷ぎをなしたとの噂がパッと擴まつたので植田署に於て事實を調査した處事實は無根で母が精神に異狀を呈して居り常に殺さるゝ等と口走つてゐる者でみどりは此の噂のために折角まとまりかけた縁談が破談になりさうになり極度に娘心に悲觀してゐる氣の毒な狀態であると

御中元廢止

小田炭礦の節約

好間村小田炭礦では目下の財界不況切り拔けに就いて種々計畫中であるが此れが第一着手として一般從業員間の虛禮を廢止する事になり先ず御中元、新盆贈答等は一齊に嚴禁する事となつた

湯本運送欠損

湯本町湯本運送株式會社の株主總會は去る二十八日午後から會社に於て開催したが固定せる運賃その他につき償却をなし內容の改善をはかつた結果七百二十九圓五錢の缺損を計上して後期に繰越次期には豫想配當出來る豫定であると

坑內に雨水浸水し

採炭作業不能

不動澤、朝鮮、川平坑

大暴風被害後報

石城郡地方は三十一日來の大暴風雨の結果各方面の被害頗る甚大で平、四倉、植田、三警察署では各れも管內被害の調査中であるが內郷村大字宮不動澤炭礦は一昨夜の大豪雨後坑內水漸次增水し昨一日に至つて遂に坑內全部に出水を見た爲め同礦では直ちに坑內唧筒を坑外に搬出目下從事員を督勵して排水に努めてゐるが出水の結果坑內作業は全不能に陷つたので廿日間休業をなす事となり其の他朝鮮、川平第一斜坑の如きは各れも坑內に溜水し排水に努めてゐるが作業には支障ないと

濱三木炭協議

濱三郡木炭同業組合二年度經費決算報告會並に地區變更委員會は來る八日午前十時から元石城郡衙會議室に於て開催することに決定

公會堂建設

植田有志協議

石城郡植田町では公會堂がないので各種會合その他に不便を感じつゝあるがこの程町有志が發起人となつて公會堂建設につき寄り〳〵協議を進めて居るので近く具体化を見る模樣である工費は一萬五千圓の見込み

欲しくとも得られぬ

女の求職者

女ならでは世の明けぬ

平紹介所の昨今

平町職業紹介所に於ける去る七月中の紹介取扱數は求人三十六人に對し求職者四十三名內女の求職希望者は四名である此れを前六月と比較すれば求人、求職者數共に幾分增加してゐる尙近く愈々開始する筈の信用保險に就いては目下係員が準備中で遲くも八月中旬頃からは取扱を開始する豫定であるが職業紹介に就いて係員は

「目下の不況で求人數が少なく求人開拓に努めてゐるが此處は縣下の郡山福島、若松等に比較して就職率がよく約六割見當の就職者があり職業別にして見ると商業方面が求人、求職者共に一番多く炭礦方面の求人數が多い割合に求職者の少いのは求職者が筋肉勞働を希望しない結果で婦人の求職者が求人數に比較して半分にも達してゐない事は此の不況の折柄珍現象で流石に女ならでは夜の明けぬ國である事が肯かれる此れは地方の職業を希望する婦人が少いからではなく幾分の虛榮心から東京方面に出る傾向があるのと一般が未だ本眞に紹介所を理解しない結果でせう」云々

落盤で慘死

磐炭の若い坑夫

內郷村大字高坂居住新潟縣生れ磐城炭礦坑夫吉田誠太郎（三四）は昨一日午後十一時頃北第二坑斜坑に入坑採炭作業に從事中突然上方から滑走してきた空炭車に觸れ跳飛はされて頭部を炭層に強打重傷を負つたので直ちに坑外に昇ぎ出し應急加療に努めたが二日午前六時遂に死亡した平署七海部長檢視の上で死体は家人に引渡した

植田署に捕はれた

殺人前科の兼吉

二十三年を牢獄に送り

平町地方を荒す

植田町下川原飲食店水戶屋及び橋本屋で三十一日おしげもない金つかひをしてゐる男があつたので植田署で不審と睨み本署へ連行して取調るとこの男は茨城縣東茨城郡磯濱町磯崎兼吉（五）と稱し蝮の兼吉及喧嘩兼吉等の別名ある殺人竊盜賭博前科六犯を有し大正八年まで二十三年を牢獄に送つたしたゝか者である事判明平署で搜索中なる小名濱地方に入込み肥料詐欺を働いてゐた犯人に酷似してゐるので一日平署の柴崎刑事に身柄を引渡したが茨城二二九六八湊五七六五號の鑑札及記號札ある自轉車及現金五十餘圓を所持してゐた

渡邊高等赴任　平署

高等係から新設の縣特高課勤務に榮轉した巡查渡邊公氏は今二日午前九時二十五分平驛發列車で赴任した

高久院長快癒

けふ診療に從事

平町高久病院長高久忠氏は風邪の氣味、昨一日休養したが全快し今二日から平常通り數多患者の診療に從事してゐると

出場選手豫選　好間

好間村青年團では今秋擧行される縣下陸上競技會に出場せしめる選手の豫選會を來る五日午前九時から同村小學校で擧行する事となつた

九死に一生を得た

漂浪の船歸る

小名濱港や茨城縣へ

乘組員一同無事

出漁中一昨夜來の大時化に遭ひ遂に行方不明に陷つてゐた江名町仲の作の漁船大成丸は昨一日時化の靜まるを待つて午後八時小名濱港に歸港し、更らに此れも行方不明で安否を氣支はれてゐた同町成田丸も同日午後七時茨城縣鷲野濱港に寄港し九死に一生を得各れも乘組員船体共に無事であつたと

看護婦表彰

平町南町平看護婦會看護婦江尻ワカさんは飯野村隔離病舍に派出し職務勉勵の故を以て村長伊藤淺之助氏より金一封と表彰状を送られた

朝鮮飴屋の

四人組賭博

一名は逃走

平町字才槌小路二九（五）住朝鮮慶尙南道生れ飴屋朴舜鋭（三八）同金東日（三九）同池鐘奎（二六）金在永（三二）の四名は今二日午前二時半頃同記住所で車座となりチクデンと稱する現金賭博中密行の柴崎刑事に踏み込まれ金在永は場錢十餘圓を拐サラつて逃走他の三名は逮捕された尙逃走した金永の行衛捜查中

專門醫師を派して

炭礦の衞生調査

これから多くなる

坑內の傷病者

石城郡所在各炭礦では銳意從業勞働者の衞生方面に意を注ぎ萬一なからしめてゐるがこれから多くなる鑛夫の傷病者殊に坑內勞働に從事する少年婦人救濟のため仙臺鑛山監督局では管內坑內に於ける溫度及び衞生狀態につき調査することになつたが、傷病者の七割は炭坑內であると云ふのでその第一着手として來る八月五日より一週間衆子技師、松井醫師が入山、內郷、湯本內の各炭礦に向ふことゝなつたが同一行には東北大學近藤、加藤兩博士も同行專門的立場より指導する筈である、又前記三ケ所の終了次第各鑛山の調査をも開始する筈である、法規による最低溫は三十五度である

郡農會主催

巡回講習

十四日皮切り

石城郡農會では行詰まれる現在農業經營の打開策として同會主催で郡下各所に農事講習會を開催することになつたが講師は日本一の稱ある松本喜作翁であるが來る十四日同郡大浦村を皮切りに郡下數箇所で開催する筈

光榮に浴す

高齡者死亡

平町で五名

今秋行はせらるゝ御大典に際して養老杯を下賜される平町の高令者は五十六名であつたが去る二十九日までに死亡者五名を出したので現在五十一名となつたが死亡者氏名左の如し

平町搔槌小路三三鈴木マタ（八二）平町新川町八二杉崎タカ（八二）同搔槌小路四大河內友藏（八二）同三丁目鹽崎ダイ（八三）同八幡小路坪野サイ（八三）

大浦記念品評　石城

郡大浦村では十一月の御大典に際し記念事業として各實行組合の農作物品評會及俵米品評會を開催すべく目下同村內農業技手は諸般の準備を急いで居る

淺野記者着任　東京

朝日新聞平通信部八代公氏の後任として來任した淺野惠四郎氏は二日平町の官衙、學校、新聞社等を訪問挨拶をなした

山代吉宗釋放　平署

吉田高等刑事に對する傷害暴行罪で送檢された舊勞農黨新黨組織準備會員山代吉宗は去月三十一日一時釋放された

明日の天候

今日の溫度と

（小名濱測候所發表）

本日正午の溫度は七十四度三分

明日の豫報　北東の風曇り一時晴れ

かみくづ

新田町の紅裙連に贈呈したいのは△富彌さんへ高萩行二等パス一ケ年分△小六さんに疊道具一切及び消防ポンプ一枚△春子さんへ齒科醫療器一式△小しんさんへドラ息子の着流すニヤケた黑縮緬の羽織とステッキ一本△小つやさんへ專務學講習錄六ケ月分と汽車發着時間表一部△富八さんへ電燈會社事務處理法一冊及び借金償還整理早見帳一部△小さんさんへ若返りとヤセル藥七週間分△高助さんへ醬油倉一棟と賣掛代金の古通帳四冊△松葉さんへ民政黨十義綱領一部と女房緣切證文一枚△たかるさんへ鐵道枕木九噸積み一車及び蒟蒻賣買法一冊△茶目さんへ土木建築請負入札裏見法と砂利採取販賣の秘訣一部△妻子さんへ徹夜勸務薄利多賣表彰状一枚△以上中元代りに目錄だけを贈呈してきます

釀造元
清世界
吉清水屋
銘酒
各炭鑛御用達
石城小名濱町
小野晉平
電話六番

外科新設
外科專門　部長　藤本順
診療開始
產科
婦人科　院長　木村寅次郎
從前通り診療
平町新川町
木村醫院
電話一六四番